

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 7 年 1 月 25 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200734		
法人名	株式会社 ケア21		
事業所名	グループホーム たのしい家 祇園山本		
所在地	広島市安佐南区山本4丁目12-56-3（電話）082-832-3221		
自己評価作成日	令和7年1月5日	評価結果市町受理日	令和7年4月3日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490200734-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町1丁目6番29号
訪問調査日	令和 7年1月17日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

個々の個性を大切に、その人らしさを持ち続けられるよう、ご本人の希望に沿った支援を行っています。個人の潜在能力を活かして出来る喜びや、達成感を感じて頂けるよう日常生活の中に役割を持って頂けるように取り組んでいます。また季節を感じて頂けるよう日々の散歩やイベントを開催しています。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

楽笑 「一緒に笑う 一緒に楽しむ 一緒に始める」の理念と共に全体会議で話しあった、今年度のビジョン「幸せな生活～自分らしく、楽しく、生きる～」を掲げ、全職員が共有し日々の業務に取り組んでいる。業務の中で考えた思いや提案等を出来ないではなく、まずは行動する事で出来た喜びや達成感に繋げている。食事作りは利用者が職員と一緒に食材に触ってみる触覚から始まり、視覚、聴覚、嗅覚、味覚を五感セラピーとして日頃の生活の中から感じてもらう支援をしている。医療については医療連携体制を整えている。職員は研修で知識を習得し、情報の共有を行い、看取りの時も安心出来る体制を築いている。職員同士話しやすい環境を整備して、まずは考え、まずはやってみる、行動する事で自信に結びつく取り組みをしている。

自己評価	外部評価	項 目（ 1号館 ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎日の朝礼時（株）ケア21の理念、各フロア職員が会議で話し合い作成した目標を実践出来るように貼り出し唱和しています。	職員が全員で話し合った今年度のビジョン「幸せな生活～自分らしく、楽しく、生きる～」を揚げ、毎日の朝礼時に法人の理念と共に唱和し実践に取り組んでいる。年度末に振り返り検証し、次年度に向けて繋げている。個々に職員は介護や自分自身を振り返りスキルの向上に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近隣の施設行事や地域行事参加し学区で行われている高齢者対象のいきいきサロンに定期に参加して体操や認知症対応の講演を行っています。	社会福祉協議会の関係者から得た地域の夏祭りの参加や地域集会所で開催のいきいきサロンに参加している。近隣の介護事業所が合同のイベントを行っていたが現在は環境が大きく変わり開催が困難になった。事業所で地域に根差す取り組みとして地域住民の参加がしやすいイベントの開催を検討している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	山本学区でのいきいきサロンに参加し認知症対応の講演や認知症予防の体操やレクリエーションを紹介させて頂きました。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	地域包括支援センター、社会福祉協議会、民生委員、ご家族様、ご入居者様の参加を頂き事業所の取り組みや研修等の報告をし、ご意見やご意向を聞かせて頂き参考にさせて頂いております。	利用者、家族、地域包括支援センター、社会福祉協議会、事業所職員等の参加で開催している。行事報告、事故報告、身体拘束適正化検討委員会を同時に開催している。状況報告の中で質疑があれば事業所の対応策等丁寧に説明、回答を行い、意見や提案を活かす取り組みを実践している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	事故やご家族様からのご意見などの対応や相談をさせて頂きアドバイスなどを頂いています。	地域包括支援センターとは運営推進会議に参加で情報共有を行っている。又、地域包括支援センター主催のオンライン講座に参加し、認知症に関する基礎知識を学んでいる。市担当者とは不明な点等出向いたり、電話等で相談し、アドバイスをもらう等、密な関係の構築に努めている。	

自己評価	外部評価	項 目（ 1号館 ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	定期的に研修を行い報告書の提出により職員の意識や理解などの把握に努めています。止むを得ない場合などの取り組みの研修内容に取り入れ身体拘束をしない取り組みを実施しています。	研修や身体拘束適正化検討委員会を通じて身体拘束による弊害の知識を習得している。職員は年2回各自、身体拘束チェック項目に沿って振り返り自己研鑽をしている。スピーチロックについて優先順位を決める事で言葉による拘束も改善するよう努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的に研修を行い報告書の提出により職員の意識や理解などの把握に努めています。毎月カンファレンスを開催し個人の特徴やケアの実践方法を話し合い共有しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	定期的に研修を行い報告書の提出により職員の理解の把握に努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前に重要事項説明書に基づき読み合わせの上説明し契約させて頂いています。また改訂などで料金体系に変更がありましたら、改定の説明を行い同意書を書面にて頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関にご意見、ご要望箱を設置しております。また法人より年1回「顧客満足度アンケート」を実施しており、改善点は改善しています。	面会時や電話、毎月1回手紙で行事の様子を伝え、意見や要望を聴取する機会を設けている。遠方の家族等にはInstagram（SNS）を活用し日頃の様子を発信している。今後は家族会を開催し家族同士の交流が図れるよう検討している。	

自己 評価	外部 評価	項 目(1号館)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	法人より年1回「従業員満足度調査」を実施している。管理者は月1回開催される全体カンファレンスで従業員の意見、提案を聞いて話し合う場を設けています。	月1回全体カンファレンスで職員の意見や要望を聴取し、話しやすい環境を整えている。意見の中からやりたい事をまずやってみる事で意欲に繋がっている。例えば餅つき大会、獅子舞、動物園に外出支援、食事作り等取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	法人より年1回「誰のび人事シート」で絶対評価を行い給与に反映しています。またキャリアアップ段位制度による個々のスキルアップを評価し向上心アップを図っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人の年間教育計画に基づき管理者、ケアマネ、介護スタッフは入社時研修、3ヶ月、6か月、1年、3年後のフォローアップ研修が実施されています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	法人内のグループホーム会議やエリア会議などで情報交換や意見交換しサービスの質の向上に努めています。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居決定時には管理者、ケアマネ、ユニットリーダーなど複数名で面談実施しています。見学、問い合わせや入居前面談でご家族様にも不安や要望を聞き取り理解いただけるように丁寧に施設概要やサービス内容を説明しています。		

自己評価	外部評価	項 目 (1号館)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居当日には面談に立ち会った職員が出迎えるようにしています。入居初めはこんらんされることがありますので全スタッフがご本人の情報を共有し関係構築に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	情報の共有、面会時のご家族との会話からヒントが出ていないが見極め意見交換を行い自施設に留まらず相談し対応を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	出来ることを出来るときに無理強いすることなく役割を持って頂いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	些細な事も意見交換しています。面会時にはゆっくりと過ごして頂けるように配慮し、行事やレクリエーション活動の案内を定期的に行っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	何時でも誰でも時間を問わず面会を受け付けています。馴染みの病院受診や美容室など利用して頂いています。	友人、知人の来訪や年賀状の代筆、利用者の要望等の外出は家族対応で、自宅周辺や外食等で馴染みの場所に出かけたり、各ユニットの往来も自由に出来て、利用してから顔馴染みになる等、関係の継続支援に努めている。	

自己 評価	外部 評価	項 目 (1号館)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	関わっている職員が観察し状況に応じた席替え等を行い、より良い関係構築に努めています。また、コミュニケーションの困難な方には職員が間に入り円滑に関係作りが出来るようにしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	医療機関を含め居宅時の担当ケアマネなどと情報共有を行い必要に応じて対応させて頂いています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	喜んでおられること、笑顔が見れることを見つけられるように努めています。些細な事でも意思確認を行い自分の思いを伝えられるように観察を行っています。	日頃の生活の中での会話や朝夕の散歩の時、入浴時や排泄介助の時等マンツーマンの時に利用者の思いや意向の把握をしている。やりたい事、食べたい物等を記録に残し、月1回のカンファレンスで情報の共有を行い、行事等で活かす取り組みをしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前にアセスメントを行うが、入居後もご家族、ご友人など面会に来られた方々からもお話を聞かせて頂き情報を増やしていけるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々の心身の状況に合わせて1日の過ごし方をご本人様やご家族様の意向も踏まえて考えています。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (1号館)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	毎月ご家族様へお手紙を送っており、介護計画書のモニタリング形式で報告しています。	日頃の様子を家族に手紙にて郵送し意見や要望など聴取している。アセスメントを行い、利用者や家族の意向を踏まえた介護計画を作成している。毎月のカンファレンスでの意見や3ヶ月毎にモニタリングを行っている。状態に変化があればその都度、医療機関の意見や職員の提案を活かした介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	小さなことも情報について共有し申し送り、記録の書き方など会議で話し合うようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	日常の些細な会話の中にヒントとなるように会話を大切にし傾聴をする姿勢に努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	本人様のニーズに沿えるように支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	殆どの方がグループホームと提携しているクリニックをかかりつけ医に変更されています。事業所の提携医ということで信頼頂いています。病気、症状により専門医への受診が円滑にできるよう支援しています。	契約時に、かかりつけ医の説明を行い、希望のかかりつけ医の確認をしている。緊急時対応受診も可能で殆どの方が、提携医をかかりつけ医としている。かかりつけ医の月2回の訪問診療と週1回非常勤看護師の健康管理や緊急時のオンコール体制も整えている。契約により訪問歯科受診も可能である。	

自己評価	外部評価	項 目 (1号館)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	非常勤勤務の看護師が配置されています。日々の情報交換、報告がしっかりとできておりオンコールにより緊急時の対応もできています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は定期的な面会、連携室との情報交換により病状や環境変化による戸惑いなど確認し適切なアドバイス等、情報共有しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居契約の重要事項説明書で重度化指針を説明しています。入居時ということでイメージ出来ないご家族も多いですがグループホームの体制や終末期看取りの介護の対象の話もさせて頂いています。	契約時に、緊急時、終末期における医療等に関する意向確認書を説明確認をしている。看取りの段階で家族、医師、看護師、職員で説明し意向の確認を行っている。職員は看取り研修で知識を習得し、看護師からも説明を行い、チームとなって看取り支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時や事故発生時の対応に対する注意点や観察要点などを提携医よりアドバイスを頂き掲示し連絡体制も合わせ掲示しています。法人による研修の実施も行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の消防訓練を実施し、うち1回は消防署員の立ち会いのもと実施しています。昼、夜共の想定し訓練しています。また運営推進会議の場にてご家族、地域の方々にも協力を要請しています。当施設が土砂災害警戒地区にあるため市より義務付けられている避難経路確認書を作成開示しています。	年2回、昼間・夜間を想定して避難訓練を実施している。日頃から導線には物を置かないようにフロア床面は色別してあり、避難経路確認等行っている。BCP（事業継続計画）は毎年更新し、備蓄品として水や食料品等1週間分整備している。	

自己評価	外部評価	項 目（ 1号館 ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	「認知症とは」と題した研修を定期的 に実施し人の尊厳についてや人としてのか かわり方を学び実施しています。	接遇についての研修や「認知症とは」研 修で知識を習得し、一人ひとりの尊厳を 大切にし、プライバシーの確保に努め、 特に排泄時の声掛け等、個々のプライド を損ねない対応に心がけている。個人情 報等は鍵のかかる収納庫に保管してい る。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表 したり、自己決定できるように働きか けている。	些細な要望も見逃さず迅速に対応でき るようにしています。そうすることにより 希望を表現してくださる機会も多く見ら れます。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するの ではなく、一人ひとりのペースを大切に し、その日をどのように過ごしたい か、希望にそって支援している。	基本的な生活のリズムは確保しつつ本人 の体調や気分、機嫌、希望に配慮し、そ の人らしい無理のない生活を支援してい ます。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれが できるように支援している。	衣類の選択や朝の身支度は本人の意向を 確認しながら支援しています。お化粧を 希望される方などは出来るように準備し 支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人 ひとりの好みや力を活かしながら、利 用者と職員と一緒に準備や食事、片付 けをしている。	それぞれの好みやリクエストを出来る だけ取り入れています。調理も出来るこ とを段階に応じてお願いし一緒に行ってい ます。また、それぞれの出来ることを分 担しお願いしています。	献立の食材が届き、厨房で調理してい る。好みの物等行事やイベントで提供し ている。出前のお寿司や時には天ぷらを その場で揚げ出来立てを提供したり、職 員が工夫したバームクーヘン作り、クッ キー等手作りおやつ、時には畑の野菜が 食材に加わる等、食を楽しむ支援を職員 のアイディアから取り入れている。	

自己評価	外部評価	項 目 (1号館)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の () 内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。	基本的には食事業者の管理栄養士の作成 の献立です。食事、水分摂取量を記録し 適切な摂取量を確保できるように努めて います。個々の嚥下、咀嚼能力に応じた 食事形態で提供し提携医や歯科医に相談 しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケアを実施しています。拒否 のある方は時間をおいて、うがいだけで も行っていただけるよう支援していま す。週1回訪問歯科医による歯科治療を 行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	尿意便意のある方、トイレでの排泄が可 能な方はトイレでの排泄支援を行って います。尿意便意の意思表示の難しい方 の排尿パターンを把握し出来る限りトイレ での排泄を支援しています。	排泄チェック表で排泄間隔を把握し、ト イレで座位姿勢での排泄支援に取り組ん でいる。立位が難しい利用者は立位運動 を繰り返す事で立位が保てるようにな り、オムツからリハビリパンツ、パット 使用となって、便座に座っての排泄が出 来るようになる支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘予防のため水分摂取量を把握し体操 や牛乳、ヨーグルト摂取により腸の動き が活発になるよう対応しています。また 提携医に相談し便剤によるコントロール も行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合 わせて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。	基本的には入浴日は決めさせて頂いて いますが、体調やタイミング希望を考慮し 最低週2回は入浴頂けるよう支援してい ます。	週2回午後浴を基本としている。体調や 気分により変更する等柔軟に対応してい る。脱衣室と浴室の温度管理や時には しょうぶ湯やゆず湯で季節を感じたり、 入浴時に利用者の思いを聞く事もある 等、楽しく入浴が出来るよう工夫しなが ら支援をしている。	

自己 評価	外部 評価	項 目(1号館)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	個室にて自由に過ごして頂ける ように支援していますが、昼夜逆 転しないように注意を払ってい ます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	調剤薬局にて居宅療養管理指導 を受けています。法人の年間教 育計画も服薬についての研修も 位置付けられています。また、 申し送りノートや朝礼時に薬の 変更や目的、副作用使用量など の情報の共有をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	共同生活の中での役割（掃除、 洗濯干し、洗濯畳、調理、片付 けなど）持つて頂いたり、季節 行事やレクリエーションなどで 生活の中での楽しみや彩を感じ て頂けるよう支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。	日常的には施設周りや近隣の散 歩を支援しています。重症化が 進み買い物など定期的に行うこ とが少なくなっていますが施設 での買い物時には声掛けを行 い支援に繋げられるように取り 組んでいます。	散歩や畑の野菜を職員と一緒に 収穫したり、行事の買い物に出 かける等行っている。初詣や桜 並木の見学、ドライブで紅葉を 見たり、動物園に外出する等、 事業所ができる範囲で楽しみ のある外出支援を実施してい る。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように 支援している。	ご利用者様のお小遣いをお預か りし金庫にて保管し、ご本人 にもお伝えし買い物を希望さ れた方には、そこから出金して 買い物をしています。		

自己評価	外部評価	項 目 (1号館)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の () 内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	自由に気兼ねなく連絡を希望される方は携帯電話を持たれておられる方もいらっしゃいますが自己管理が難しいため事務所のご本人様が確認出来る所で保管させて頂いています。要望に応じ事務所電話も子機を使用しお話頂いています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	五感にこころ良い空間をと思いアロマを使用したり季節ごとに壁に手作りの物を装飾したり温度、湿度に気を付けています。台所は危険を排除し自由に出入りできるように家庭的な雰囲気を大切にしています。トイレ、浴室もシンプルに清潔感に気を付けています。	季節毎の飾り付けや日めくりカレンダー、本日の食事メニューが掲示してある。空気清浄器、加湿器、換気や空調管理等に気を配り、感染症対策に心掛けています。ラジオ体操、口腔体操、嚥下体操も取り入れ、物作りや洗濯物たたみ等、出来る事を一緒に行っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビング窓際にソファを置き自由に座って頂けるようにしています。事務所を通して自由に隣のユニットへも行き来されています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	介護用ベット、防災カーテン、ロッカーは備え付けとなっていますが、入居時には使い慣れた家具や物、趣味の物などを持ってきて頂くようお願いしています。	居室は介護ベッド、ロッカー、エアコン、カーテンが設置してある。カーテンや壁面も淡色で環境に慣れてもらえるよう、自宅で使い慣れた物や大切な物を持参し、安心して落ち着いて過ごせるようベッドやタンスの配置の工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ご自分で出来ることは出来る限りご自分で行って頂いています。個々の状態に合わせたの介助を考え無理のないように支援し職員の観察力を大切にどうすればできるか？どのように支援すれば、よりスムーズに行って頂けるか取り組んでいます。		

V アウトカム項目(1号館) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項 目（ 2号館 ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎日合同での朝礼時（株）ケア21の理念、各フロア職員が会議で話し合い作成した目標を実践出来るように貼り出し唱和しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近隣の施設行事や地域行事参加し学区で行われている高齢者対象のいきいきサロンに定期に参加して体操や認知症対応の講演を行っております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	山本学区でのいきいきサロンに参加し認知症対応の講演や認知症予防の体操やレクリエーションを紹介させて頂きました。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	地域包括、社協、民生委員、ご家族様、ご入居者様の参加を頂き事業所の取り組みや研修等の報告しご意見やご意向を聞かせて頂き参考にさせて頂いております。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	事故やご家族様からのご意見などの対応や相談をさせて頂きアドバイスなどを頂いています。		

自己評価	外部評価	項 目 (2号館)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	定期的に研修を行い報告書の提出により職員の意識や理解などの把握に努めています。止む無い場合などの取り組みの研修内容に取り入れ身体拘束をしない取り組みを実施しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的に研修を行い報告書の提出により職員の意識や理解などの把握に努めています。毎月カンファレンスを開催し個人の特徴やケアの実践方法を話し合い共有しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	定期的に研修を行い報告書の提出により職員の理解の把握に努めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前に重要事項説明書に基づき読み合わせの上説明し契約させて頂いています。また改訂などで料金体系に変更がありましたら、改定の説明を行い同意書を書面にて頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関にご意見、ご要望箱を設置しております。また法人より年1回「顧客満足度アンケート」実施しており改善点は改善しております。		

自己評価	外部評価	項 目 (2号館)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	法人より年1回「従業員満足度調査」を実施。管理者は月1回開催される全体カンファで従業員の意見、提案を聞いて話し合う場を設けています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	法人より年1回「誰のび人事シート」で絶対評価を行い給与に反映しています。またキャリアアップ段位制度による個々のスキルアップを評価し向上心アップを図っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人の年間教育計画に基づき管理者、CM、介護スタッフは入社時研修、3ヶ月、6か月、1年、3年後のフォローアップ研修が実施されています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	法人内のGH会議やエリア会議などで情報交換や意見交換しサービスの質の向上に努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居決定時には管理者、CM、ユニットリーダーなど複数名で面談実施しています。見学、問い合わせや入居前面談でご家族様にも不安や要望を聞き取り理解いただけるように丁寧に施設概要やサービス内容を説明しております。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (2号館)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居当日には面談に立ち会った職員が出迎えるようにしています。入居初めは混乱されることがありますので全スタッフがご本人の情報を共有し関係構築に努め起こり得るトラブルを想定して対応を検討しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	情報の共有、面会時のご家族との会話からヒントが出ていないか」見極め意見交換を行い自施設に留まらず相談し対応を行っております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	出来ることを出来るときに無理強いすることなく役割を持って頂いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	些細な事も意見交換しています。面会時にはゆっくりと過ごして頂けるように配慮し、行事やレクリエーション活動の案内を定期的に行っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	何時でも誰でも時間を問わず面会を受け付けています。馴染みの病院受診や美容室など利用して頂いています。		

自己 評価	外部 評価	項 目(2号館)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	関わっている職員が観察し状況に応じた席替え等を行いより良い関係構築に努めています。また、コミュニケーションの困難な方には職員が間に入り円滑に関係作りが出来るようにしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	医療機関を含め居宅時の担当CMなどと情報共有を行い必要に応じて対応させて頂いております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	喜んでおられること、笑顔が見れることを見つけられるように努めています。些細な頃でも意思確認を行い自分の思いを伝えられるように観察を行っています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前にアセスメントを行うが、入居後もご家族、ご友人など面会に来られた方々からもお話を聞かせて頂き情報を増やしているように努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々の心身の状況に合わせて1日の過ごし方をご本人様やご家族様の意向も踏まえて考えております。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (2号館)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	毎月ご家族様へお手紙を送っており、介護計画書のモニタリング形式で報告しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	小さなことも情報共有し申し送り、記録の書き方など会議で話し合うようにしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	日常の些細な会話の中にヒントとなるように会話を大切にし傾聴をする姿勢に努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	本人様のニーズに沿えるように支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	殆どの方がGHと提携しているクリニックをかかりつけ医に変更されています。提携医ということで信頼頂いています。病気、症状により専門医への受診が円滑にできるよう支援しています。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (2号館)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	非常勤勤務のNSが配置されています。日々の情報交換、報告がしっかりできておりオンコールにより緊急時の対応もできています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は定期的な面会、連携室との情報交換により病状や環境変化による戸惑いなど確認し適切なアドバイス、情報共有しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居契約の重要事項説明書で重度化指針を説明しています。入居時ということでイメージ出来ないご家族も多いですがGHの体制や終末期見取りの介護の対象の話もさせて頂いています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時や事故発生時の対応に対する注意点や観察要点などを提携医よりアドバイスを頂き掲示し連絡体制も合わせ掲示しています。法人による研修の実施。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の消防訓練を実施し、昼、夜共の想定し訓練しています。また運営推進会議の場にてご家族、地域の方々にも協力を要請しています。当施設が土砂災害警戒地区にあるため市より義務付けられている避難経路確認書を作成開示しています、施設独自のPCBマニュアル作成し共有しています。		

自己 評価	外部 評価	項 目（ 2号館 ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	「認知症とは」と題した研修を定期的に実施し人の尊厳についてや人としてのかかわり方を学び実施しております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	些細な要望も見逃さず迅速に対応できるようにしています。そうすることにより希望を表現してくださる機会も多く見られます。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	基本的な生活のリズムは確保しつつ本人の体調や気分、機嫌、希望に配慮し、その人らしい無理のない生活を支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	衣類の選択や朝の身支度は本人の意向を確認しながら支援しています。お化粧を希望される方などは出来るように準備し支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	それぞれの好みやリクエストに出来るだけ取り入れています。調理も出来ることを段階に応じてお願いし一緒に行っています。また、それぞれの出来ることを分担しお願いしています。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (2号館)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。	基本的には食事業者の管理栄養士の作成の 献立です。食事、水分摂取量を記録し適切 な摂取量を確保できるように努めていま す。個々の嚥下、咀嚼能力に応じた食事形 態で提供し提携医や歯科医に相談していま す。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケアを実施、拒否にある方は時 間をおいて、うがいただいても行っていただ けるよう支援しています。週1回訪問歯科 医による歯科治療を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	尿意便意のある方、トイレでの排泄が可能 な方はトイレでの排泄支援を行っていま す。尿意便意の意思表示の難しい方の排尿 パターンを把握し出来る限りトイレでの排 泄を支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘予防のため水分摂取量を把握し体操や 牛乳、ヨーグルト摂取により腸の動きが活 発になるよう対応しています。また提携医 に相談し便剤によるコントロールも行っ ています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。	基本的には入浴日は決めさせて頂いていま すが、体調やタイミング希望を考慮し最低 週2回は入浴頂けるよう支援しておいま す。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (2号館)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個室にて自由に過ごして頂けるように支援していますが、昼夜逆転しないように注意を払っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	調剤薬局にて居宅療養管理指導を受けています。法人の年間教育計画のも服薬についての研修も位置付けられています。また、申し送りノートや朝礼時に薬の変更や目的、副作用使用量などの情報の共有をしております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	共同生活の中での役割（掃除、洗濯干し、洗濯畳、調理、片付けなど）持って頂いたり、季節行事やレクリエーションなどで生活の中での楽しみや彩を感じて頂けるよう支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常的には施設周りや近隣の散歩を支援しています。重症化が進み買い物など定期的に行うことが少なくなっていますが施設での買い物時には声掛けを行い支援に繋げられるように取り組んでいます。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご利用者様のお小遣いをお預かりし金庫にて保管し、ご本人にもお伝えし買い物を希望された方には、そこから出金して買い物をして頂いています。		

自己評価	外部評価	項 目 (2号館)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の () 内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	自由に気兼ねなく連絡を希望される方は携帯電話を持たれておられる方もいらっしゃいますが自己管理が難しいため事務所のご本人様が確認出来る所で保管させて頂いております。要望に応じ事務所電話も子機を使用しお話頂いております。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	五感にこころ良い空間をと思いアロマを使用したり季節ごとに壁に手作りの物を装飾したり温度、湿度に気を付けております。台所は危険を排除し自由に出入りできるように家庭的な雰囲気を大切にしています。トイレ、浴室もシンプルに清潔感に気を付けています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビング窓際にソファを置き自由に座って頂けるようにしています。事務所を通過して自由に隣のユニットへも行き来されています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	介護用ベット、防災カーテン、ロッカーは備え付けとなっていますが、入居時には使い慣れた家具や物、趣味の物などを持ってこんで頂くようお願いしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ご自分で出来ることは出来る限りご自分で行って頂いています。個々の状態に合わせての介助を考え無理のないように支援し職員の観察力を大切にどうすればできるか？どのように支援すれば、よりスムーズに行って頂けるか取り組んでいます。		

V アウトカム項目(2号館) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームたのしい家祇園山本

作成日 令和7年3月1日

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における 問題点, 課題	目標	目標達成に向けた 具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	48	レクリエーションの充実。	多彩なレクリエーションに取り組むことでの 上の刺激を与えつつ楽しく過ごす。	運動や思考レクにとど まらず食事レク等積極 的に取り組む。	1年
2	35	災害時の対応。	火災・自然災害に備えて 訓練実施する。	運営推進会議など地域、 家族に呼びかけ訓練 に参加お願いする。	6ヶ月
3	40	誤嚥防止。	食べる姿勢、口腔体操 など。	日々の嚥下口腔体操の 強化。	6ヶ月
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。